

KIZUNA Cafe の取り組みが紹介されました!

現場の人の素顔と企業の思い

企業と福祉の懸け橋を

■障害者雇用モデルの実践

労働者団体などが参画し、障害者の働きと暮らしに対する支援などを行う一般社団法人「障害者雇用促進センター」が運営。荒井知事と連合奈良(小山市二会長)の森本哲次前会長(センター代表理事)が先頭に立ち、平成22年9月に同店とともに設立した。

「ぎみと、ずつ」と、なにかま。パ

現在、同店では知的障害、身体障害、精神障害を抱えた正規アルバイトスタッフ3人が在籍。ホールや厨房、事務補助などの業務を行っている。それぞれ、県内の特別支援学校から職場実習を経て、正式に雇用されたり、ハローワークの紹介などでスタッフの一員となった。

「障害者雇用促進センター」が運営。荒井知事と連合奈良(小山市二会長)の森本哲次前会長(センター代表理事)が先頭に立ち、平成22年9月に同店とともに設立した。

同店のコンセプトは①障害者雇用モデルの実践②商品のテスト、マーケティング、販路拡大③障害者就労に対する県民、企業の理解促進の3つを柱に、企業と福祉分野の懸け橋を担うため、集客効果の高い東向商店街の県女性センター1階に開設された。

「障害者雇用促進センター」が運営。荒井知事と連合奈良(小山市二会長)の森本哲次前会長(センター代表理事)が先頭に立ち、平成22年9月に同店とともに設立した。

同店のコンセプトは①障害者雇用モデルの実践②商品のテスト、マーケティング、販路拡大③障害者就労に対する県民、企業の理解促進の3つを柱に、企業と福祉分野の懸け橋を担うため、集客効果の高い東向商店街の県女性センター1階に開設された。

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

同店は、行政、社会福祉団体、経営者団体

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。

「最初は気持ちが悪かったり、障害が向きだったり、障害が壁になってスムーズに仕事をこなせないことも多い」と話す。それでも、立石さん

まなければいけない。これは、視界が広くなり、落ち着いて、笑顔で対応できるようになったという。趣味はゴルフで、コンペなどで初対面の人とラウンドを回している、笑顔の素敵な天理市に住む女性(28)は、11年前に交通事故に遭い、知的障害を抱えた。それ以来「覚える」という作業が困難になった。今では、彼女のファンという客も多く、人気者だと、他のスタッフは言う。将来は「デスクワークや流れ作業ではなく、人と多く関わる仕事に就きたい」と思いを語った。



障害を抱えながらも、将来の飛躍を目指して「KIZUNA Cafe」で働く人たち